

2024年4月19日

福ビル街区建替プロジェクト
「(仮称)新福岡ビル」の正式名称が決定！
『ONE FUKUOKA BLDG.』
-ワン・フクオカ・ビルディング-
「福ビル」から「ワンビル」へ！
天神の新ランドマーク 2025年春、開業。

西日本鉄道株式会社(福岡市博多区、代表取締役社長執行役員 林田浩一)では、2018年より福岡市中央区天神一丁目において、「福ビル街区建替プロジェクト」(福岡ビル跡、天神コアビル跡、天神第一名店ビル(天神ビブレ)跡の一体開発)を推進しております。

『創造交差点～meets different ideas～』を開発コンセプトに掲げる当ビルは、福岡市が推進する天神ビッグバンに寄与するとともに、商業・ビジネス・ホテル・カンファレンスなど多様な機能を網羅する、九州屈指の規模を誇る大型複合ビルとなる予定で、建設工事は順調に進捗しています。

このたび、当ビルの正式名称を『ONE FUKUOKA BLDG.(ワン・フクオカ・ビルディング)』(略称:ワンビル※以下同)とすることを決定しました。併せて、ホテルおよびカンファレンスホールの正式名称・ロゴにつきましてもお知らせいたします。

ワンビルは、2024年末の建物竣工、2025年春の開業を予定しています。

■新施設名称



名称:ONE FUKUOKA BLDG.

ヨミ:ワン・フクオカ・ビルディング

略称:ワンビル

■『ONE』に込めた想い

- ・「1」=始まり・起源 →創造交差点の「創造」を表現
- ・オンリー「1」 →ここにしかない新しい体験・価値観に出会えるビルを目指す
- ・「1(ワン)」チーム →福岡市民・テナント・多様な来街者と共創
- ・天神一丁目の「1」 →地名、「1丁目1番地」としての意味
- ・福岡ビル+天神コア+天神第一名店ビルが「1」つに →様々な歴史・思い・用途が結合

商業、ビジネスを中心に多様な機能が一つに重なり合うことでこれからの天神へ、そして世界へ、新たな価値を生み出していくオンリーワンの複合ビルを表現しました。

■新施設ロゴ

多様な価値観が集まり出会う『創造交差点』を体現するシンボル

海外との距離が近い福岡。多様な文化が出会い、交流し、発展する場。
 “沢山のヒト・モノ・コトが集えるようにその場所を示すシンボルは強い繋ぎ目となる目印であってほしい。”
 その願いから、誰もが知る、万国共通の記号である算用数字をシンボルとして起用。
 誰もが一目で『ワンビル』と分かり、そこへと導かれる多様な価値観が集まり出会う『創造交差点』を体現する
 シンボルデザインとしています。なお、ロゴデザインは株式会社乃村工藝社 IVD が制作しました。



ONE
FUKUOKA
BLDG.

ディテールには、「西鉄」ならではのこだわりを込めました

『天神』の天から発展した
建物を包む大きな屋根を
コンセプトとした
「URBAN ROOF」からの
着想

「1」のフォルムは、建物の
比率を意識しています。



略称の「ワンビル」を想起
させるストレートな表現

シンボルの下部は、「西鉄」
らしい、レールの断面を思
わせるディテールとしてい
ます

■新ホテル名称・ロゴデザイン

名称:ONE FUKUOKA HOTEL

ヨミ:ワン・フクオカ・ホテル



ワンビルロゴの輪郭に、ホテル独自の価値を表すやわらかな輪郭を重ね合わせたデザイン。ビル自体の魅力に加えて、最上層に位置するホテルならではの心地よさや、空の上の豊かな眺望が重なる空間であることをシンボライズしました。

ふたつの形が交差するシェイプは出会いや交流を、枠線だけの造形は外に開かれた空間設計を表現。ビルとホテルが交わることで、新たな価値が生まれる期待感を込めました。

※ティザーサイトの公開およびバンケットの予約開始は、2024年5月を予定しています。

■新カンファレンス名称・ロゴデザイン

名称:ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL

ヨミ:ワン・フクオカ・カンファレンス・ホール



ワンビルを構成するカンファレンスとして、創造交差点から生まれる新しいアイデアの発信の場となることを目指して『ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL』としました。

【参考】ONE FUKUOKA BLDG. 建物概要

【所在地】	福岡市中央区天神一丁目11番
【敷地面積】	約8,600㎡(約2,600坪)
【延床面積】	約147,000㎡(約44,000坪)
【階数】	地上19階、塔屋1階、地下4階
【建物高さ】	約97m
【設計者】	基本設計／株式会社日建設計、実施設計／鹿島建設株式会社
【外装デザイン】	Kohn Pedersen Fox Associates(KPF) ※グランドロビー、スカイロビー、オフィス共用部等内装デザインも担当
【商業内装デザイン】	株式会社乃村工藝社
【ホテル内装デザイン】	中村拓志&NAP 建築設計事務所
【施工者】	鹿島・安藤ハザマ・松本・西鉄建設 特定建設工事共同企業体
【用途】	オフィス、商業、ホテル、カンファレンス
【竣工時期】	2024年12月末(予定)
【開業時期】	2025年春(予定)



【参考】福ビル街区建替プロジェクトのこれまでの動き

2018年8月	第1期事業の建替計画を決定
2019年11月	福ビル街区(福ビル・天神コアビル・天神第一名店ビルを含む街区)街区全体での同時開発を決定
2020年11月	「感染症対応シティ」に向けた安全・安心なビルへ計画変更
2021年4月	「DBJ Green Building 認証」のプラン認証最高位ランクを取得
2021年12月	ホテル概要および運営パートナー(株)Plan・Do・See)決定
2022年6月	「LEED GOLD®」予備認証を取得
2022年11月	ZEB 認証を取得
2023年12月	「CIC Fukuoka」、「Venture Café Fukuoka」の開設を決定
2024年2月	天神地区最大級の食堂開設を決定

・ONE FUKUOKA BLDG. WEB サイト

→<https://onefukuoka-building.jp/>

・ONE FUKUOKA CONFERENCE HALL WEB サイト

→<https://onefukuoka-conferencehall.jp/>



NISHITETSU
ONLINE
MAGAZINE
N× エヌカケル

《参考》西鉄オンラインマガジン「N× エヌカケル」で関連記事を紹介しています。
【2025 年春開業(仮称)新福岡ビル再開発の裏側を探る！開発担当者が語る天神の未来】
→ <https://nnr-nx.jp/article/detail/15>

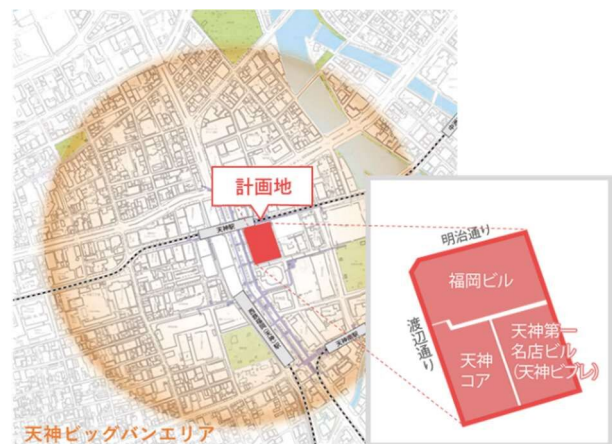
【世界トップクラスのイノベーションキャンパス CIC が福岡から世界を変える】
→ <https://nnr-nx.jp/article/detail/10>

【参考】天神ビッグバンについて



規制緩和等を活用して民間ビルの建替を促進することで、天神地区に新たな空間と雇用を創出するプロジェクト。国家戦略特区により航空法高さ制限の緩和を獲得した機を逃すことなく、様々な施策を組み合わせることで、耐震性が高い先進的なビルに建替えるとともに、水辺や緑、文化芸術、歴史などが持つ魅力にさらに磨きをかけ、多様な個性や豊かさを感じられる、多くの市民や企業から選ばれるまちづくりに取り組むもの。

なお、天神ビッグバンエリア(天神交差点から半径約 500m)の建築確認申請件数は 63 件となっている。(天神ビッグバン開始後の2015年2月~2023年3月末)



【本件に関するお問い合わせ】

西鉄お客さまセンター(Tel:050-3616-2150)